

2011年1月21日

日本貨物航空株式会社

NCA、100台の再生車イスをバンコクへボランティア輸送

「NCA、2010年度スマイルロジスティックス」

日本貨物航空株式会社(NCA、本社:千葉県成田市、社長:大槻 哲史)は、本年もアジアへ再生した車イスを届けるボランティア活動「空飛ぶ車イス」の支援を実施しました。全国の高校や大学から集められた再生車イス100台は一昨日(19日)当社の貨物機(ボーイング747-400型貨物機)に搭載し、21時10分に成田空港を出発、昨日10時40分(日本時間)にバンコク国際空港に到着し、100台の再生車イスは無事届けられました。

この「空飛ぶ車イス」の活動は、日本で使用しなくなった中古の車イスを集め、生徒達の手によって整備、再生し車イスが不足して困っているアジアの諸国へ届ける運動です。NCAでは、3年前よりこの活動の支援に参加し、日本からバンコクまで再生車イスの航空輸送を担当しています。今年も昨年と同様に、日本全国から集められた100台の再生車イスの航空輸送を実施しました。

バンコクに届けられた再生車イスは、最終的にバンコクから車で40分ほどの街にあります、タイのNGO団体PDA(Population and Community Development Association)へ輸送され、車イスを必要としている方々に届けられます。当社では、今後も積極的に社会貢献活動の充実に努め、人と地球にやさしい活動に取り組んでまいります。



車イスの整備風景



100台の再生車イスはコンテナに積み込み貨物機へ搭載しました